

ニュースレター No.85

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

入梅間近となり不安定な天候が続いておりますが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

2024年5月25日、福岡県助産師会通常総会を無事終えることができました。改選で新しい理事会が発足、私は3期目の会長を拝命することになりました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。残念ながら少子化の勢いは止まらず、2023年の出生数は72万7277人、合計特殊出生率1.20で過去最低を更新しました。このような状態が続けば、助産師は絶滅危惧種と危ぶまれることもあります。助産師がいなくなることで、世の中がどのように変わるかは歴史が証明しています。



一方で本年度は、分娩費用の保険適用化の議論が本格的に始まり、6月末には国の検討会が開始します。助産師会としての意見をしっかりとめ、どのような方向に舵を取るのか見定める必要があります。また、開業助産師存続のための根本的な課題は嘱託医制度です。日本助産師会は、地域の努力義務・連携を訴えています。これは各都道府県助産師会が努力して解決するものではなく、やはり日本助産師会が扱うべき課題だと思います。すなわち、制度そのものの抜本的な改革が必要であり、母子の安全・安楽な出産を護るため、職能団体として継続的に国や産婦人科医会に働きかけることが重要だと思います。さらに産後ケアの拡充も謳われていますが、現在の課題は伴走型支援とつながっていないことです。ピンポイントではなく、継続的な支援を目指していく必要があります。

2024年度は、福岡県にとっても躍進する年となりました。県知事の意向もあり、福岡県プレコンセプションケアセンターが4月30日に設立されました。これは福岡県助産師会への委託事業であり、2160万円ほどの予算で事業を組み、現在14名の会員が執務しています。さらに4月から、SOS電話相談が930万円の補助金を得て稼働し、現在6名の相談員で対応しています。これらは、日ごろから県と緊密に連携を取ることで、助産師会への信頼を得て実現した結果であると思います。

また本年度は包括的性教育・いのちの教育研修10回シリーズを実施します。5月第1回の研修は満席となり、順調にスタートしました。福岡県の会員には登録制度を用意しています。研修修了後は、助産師会に依頼のあった地域・学校等での包括的性教育やプレコンセプションケアセンターでの相談業務・出前講座等を担っていただくことが可能になります。多数の受講を期待しています。

現状は助産師にとって厳しい面もありますが、一方では力を発揮する好機ととらえることもできます。助産の原点は「女性・母子の傍らに添い続ける」ことです。今、改めて思うことは、助産師はその核である助産を手放さず、柔軟にかつ誇りをもって活動し、女性の信頼を得ることが最も重要だということです。助産師会の発展のため、未来を担う後継者のために、今こそ手を取り合って前進していきましょう。

常任理事挨拶

副会長 吉田 静

福岡県助産師会会員の皆さま、こんにちは。一般社団法人福岡県助産師会副会長の 2 期目を務めさせていただきます吉田静です。どうぞよろしくお願いいたします。過去 2 年目はあっという間に過ぎ去り、3 年目を迎えた今、やっと落ち着いて福岡県助産師会の全体が見えるようになってきました。今春からは電話相談事業の始動だけでなく、プレコンセプションケアセンターの開設、包括的性教育とパワーがみなぎっております。皆様のこの熱さに負けないように、会としての活動ももう一度立ち止まって足元から見直してまいります。

COVID19 感染が終息したとは言えませんが、日本だけでなく世界中が感染拡大前と変わらない生活に戻り、福岡の街もインバウンドの方で溢れかえっています。今後も感染対策に留意しつつ、会員皆さまとの顔が見える交流を企画したいと考えております。新たな気持ちでこの 2 年間で過ごしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

書記 阿部 聖子

とうとう書記も 3 期目となりました。4 年前にコロナ禍で就任した時とは、助産師会もずいぶん様変わりしてきました。研修会はオンラインやハイブリッド方式が通常となり、全国から受講され収益増になっています。

産後ケア事業の委託が毎年増え、会員増へ繋がり、今年度からは新たな事業としてプレコンセプションケアセンター、SOS 電話相談事業も始まりました。それに伴う税理士や社労士の雇用、また、会館整備による弁護士の雇用等、法人として組織の発展に繋がっていると思います。

その一方で、煩雑化した事務の体制整備は課題であり、会館問題は 1 年以上停滞しています。ですが、新会館のワクワクするような構想を現実のものとするべく、会長はじめ理事や委員の皆様と取り組んでまいりたいと思います。会員の皆様のご意見もどうぞお聞かせください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

会計 山口 美津枝

今年度通常総会で信任を戴き 3 期目の会計に就くことになりました、山口美津枝です。

思えば佐藤会長の元、常任理事に就任したのは 4 年前のコロナ元年でした。コロナが 5 類となり会の活動が活発化した現在と 4 年前では会の収入支出は桁が違っております。

昨年度からは顧問契約を結んだ税理士法人 昂の加藤田税理士さんに毎月、委託事業や新しく始まる事業など会全体のお金の相談をしております。更に今年度からは会計ソフトも入り会計の仕事が以前より整ってくるのでは？と期待をしつつ、3 期目も精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



三部会長挨拶

勤務助産師部会長 村田 修子

みなさんこんにちは。このたび、勤務助産師部会長を拝命いたしました、北九州地区に在籍し、北九州市立医療センターで勤務しております、村田修子（なおこ）と申します。珍しい読み方ですので、覚えていただくと大変嬉しいです。若かりし頃、育休中に北九州地区の開業助産師の方々と、助産所に見学に行ったり、茶話会をしたり、楽しい時間がありました。とても刺激的で助産師の視野が広がり、この横のつながりを大切にしていきたいと強く感じました。そして、勤務して思うことは若い助産師の方々のつながりです。乗り越えられないことはやってこないといいますが、この“たて・よこのつながり”を大切に、みなさまのお役にたてるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

助産所部会長 田嶋 昌枝

前期に続き、2期目の助産所部会長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。前期は分娩を取り扱う開業助産師業務の安全対策と助産力の推進を大きな柱に、研修会や助産所間の情報交換・交流会を実施いたしました。今期も会員の意見を聞きながら開業助産師に役立つ研修会や情報交換会等の計画中です。どうぞご期待ください。

2026年度から正常分娩での出産費用を公的医療保険適用とする方向で日本助産師会を含めた関係諸機関で検討が進められています。妊産婦の自己負担の軽減や正常分娩時のサービスの質の確保はもちろん、私達開業助産師のきめ細やかな助産ケアが産費用に適切に評価されるよう今後の検討経過を注視してまいります。

開業助産師の課題として常に嘱託医問題が挙げられ、医療法第19条で産婦人科専門医との嘱託医締結不可欠です。昨年、福岡県内で嘱託医契約が更新できず、閉院した助産院がありました。個人の努力では乗り越えられない課題に対し、助産師会としても行政や医師会との協議は勿論、嘱託医依頼等の活動努力をいたします。今後も一層努力してまいります。会員の皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

保健指導部会長 松浦 栄梨子

この度、保健指導部会長を務めさせていただきます松浦と申します。現在、主に地域での母子保健活動に従事しております。このような大役を仰せつかり緊張しておりますが、精一杯務めさせていただきます。部会員の皆様と交流し情報共有を図りながら、時代の変化に即した地域における助産師活動が安全かつ有効に母子とその家族の元に届くよう尽力してまいります。2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

2023年度表彰

受賞された皆様、おめでとうございます！

【日本助産師会 会長表彰】

岡部敬子氏 田中みちえ氏 阿部聖子氏

【福岡県母子保健家族計画事業功労者 知事表彰】

田嶋昌枝氏 新地裕子氏

【日本家族計画協会 会長表彰】

笠 綾子氏

【2024年度日本助産師会 会長表彰】

福澤雪子氏 谷口初美氏

【2024年度永年活動感謝状】

久留米地区 濱崎ヨシ子氏

北九州地区 脇田ムツ子氏



福澤雪子氏と佐藤会長

公益社団法人 日本助産師会 第97回 通常総会

副会長 吉田静

2024年5月17日に一橋大学一橋講堂（東京）で開催された「公益社団法人日本助産師会第97回通常総会」に福岡県助産師会代議員の佐藤会長、田嶋助産所部会長、吉田の3人が参加しました。総会には全国から集まった代議員126名が参加し、活発な意見交換が行われました。特に今回は「出産費用の保険適用」が主な議題となり「助産ケアを点数化することができるのか」「保険適用によって助産院の閉鎖が増えるのではないか」といった声が多く挙がりました。日本助産師会は、保険適用化の検討メンバーに入る予定であり、会員から収集した情報をエビデンスとして強く意見を訴えていくことが説明されました。

その他、嘱託医問題や伴走型支援の課題、全国的な助産院での出産減少による助産院閉鎖の危機に対する会の考え、具体的な今後の動きなど厳しい意見も多く聞かれました。閉会時、高田会長より「今回の総会は、男性助産師問題の時に次ぐ熱さでした」と語られ、全国の助産師たちが厳しくも温かく日本助産師会の将来に期待していることを強く感じた時間となりました。

今後、日本助産師会より会員の皆様にご意見を求められる機会が増えると思います。その際はどうぞご協力くださいますようお願いいたします。

一般社団法人 福岡県助産師会総会および特別講演の報告

筑豊地区理事 安河内 静子

5月25日(土)助産師会総会は会員数336名:出席者50名、委任状158名であり、計208名で総会成立の定足数(会員数の1/3以上)を満たし、開会されました。すべての議案が滞りなく報告、承認されました。

また新理事・監事候補者の信任投票は有効投票、満票一致で可決されました。その後の会員の交流会は限られた時間ではありましたが、有意義な時間を過ごすことができました。

総会に先立って特別講演は、映画「恋ほおずき」(原作 諸田玲子 脚本・監督 浜本正機)の浜本正機監督をお迎えしました。福岡県助産師会が後援に至った経緯についてはニューレター84号をご覧ください。助産師のルーツとも言われる女医(江戸時代)のプロとしての仕事を通して、女性の健康と権利とは何か、男女の恋愛を庇護・従属ではなく、対等な愛を紡ぐ姿を描くことで、今も変わらない無意識の偏見:アンコンシャスバイアスを浮かび上がらせたい等、監督の本作品への熱い思いに触れました。また時代劇作品の舞台裏なども垣間見ることができました。

全シーン福岡ロケ、公開は2025~2026年とのことです。完成まで後援として温かく見守ってまいります。



浜本監督を囲んで記念撮影

2024年度 研修会企画のお知らせ

教育委員長 松藤 美由紀

今期も教育委員長を務めさせていただきます松藤です。よろしくお願いたします。今年度も助産師の知識・技術の向上のためのオンデマンドでは6回、対面では4回(虐待、分娩技術、NCPR)の研修会を予定しております。対面研修では、近年増加している虐待に関する知識を深めるためBEAMSの研修会を実施いたします。他には会陰保護について、開業助産師・勤務助産師共に学びを深める研修会も計画しております。今年度もたくさんのご参加をお待ちしております。

子育て支援電話相談（SOS 電話相談）がスタートしました

子育て支援電話相談室担当 福澤雪子



福岡県子育て支援電話相談事業が 4 月 1 日にスタート、福岡県と福岡県市町村振興協会の補助金交付も決定しました。現在、在宅で携帯電話を用いて匿名の相談をうけています。2 か月間の相談数（電話とメール）は 520 件。内訳は、妊娠に関する相談 52 件（10%）、子育て 175 件（33.7%）、思春期 293 件（56.3%）でした。少しずつ相談数も増えてきています。子育てに自信がもてない母親から相談後にお礼の電話を頂いたことも複数件あり、相談者に寄り添った支援に努めている相談員の励みになっています。上の QR コードから SOS 電話相談のホームページに入ることができます。皆様も一度訪ねてみませんか。

日本で初めて！

「福岡県プレコンセプションケアセンター」の開設

福岡県助産師会会長 佐藤香代

2024 年 4 月 30 日、福岡市千代合同庁舎に福岡県プレコンセプションケアセンターが設立されました。相談と情報発信、両方の機能を備えた施設は自治体初となります。

翻れば、2023 年 12 月 29 日に福岡県から相談を受け、それから本格的に動き出したのは翌年の 3 月。助産師会に委託事業として託されてから、ほぼ休みなしの怒涛のような日々が待ち受けていました。初代コーディネーターを佐藤繭子さんに依頼し、それから二人三脚の日々が……。あれよあれよという間に約 2 か月で開設の運びとなり、なんだか今でも夢を見ているようです。事が順調に運ぶときは、このような勢いがあるのだと思います。

センターの事業の概要は以下の通りです。

1. 目的

妊娠前にリスクを減らし、健やかな妊娠・出産や生まれてくる子どもの健康につなげることが大切です。また、妊娠・出産を考えていなくても、健康でより豊かな人生を送ることができるよう、思春期からの人々を対象とした性と健康に関する正しい知識の発信と相談窓口を設置します。

2. プレコンセプションケアとは

プレは「前の」、コンセプションは「受胎」で、妊娠前の健康に関するケアという意味があります。妊娠する・しない、あるいは女性、男性に関わらず、思春期から生殖可能年齢にあるすべての人々を対象に、科学的根拠に基づいたからだや性に関する適切な知識とスキルを教育します。若者が自分自身の身体的、心理的および社会的な健康に関心を持つことは、生涯の健康づくりに向けて大切な一歩となります。

3. 相談事業：

- ・電話・メール・面接で、助産師が対応
- ・必要な時には医師（産婦人科医・泌尿器科医）への相談も可能

4. 情報発信：

- ・小・中・高校養護教諭、保健師、助産師を対象とした研修会（9回/年）
- ・大学・専門学校生等を対象とした出前講座（30回/年）
- ・SNS 広告 オンライン漫画等の作成・発信
- ・中・高・大学・専門学校・産婦人科・市町村へのリーフレット等の配布

現在相談事業とともに、SNS・リーフレット・ポスター作成を行い、周知活動に努めています。また、出前講座、養護教諭向け講座の準備を行っています。すべて1からのスタートで結構大変ですが、それらを支えてくれているのが包括的性教育ワーキングメンバーです。頼もしい限りですが、皆で楽しみながらやっています。

開所してから TV や新聞、雑誌の取材が殺到しています。また他県の県議団や政党の視察もありスケジュールが詰まっていますが、未来を担う子どもたちのために健康の概念から教育内容をしっかり吟味し、福岡県から日本へ発信していきたいと考えています。



帝京大学 福岡 出前講座



帝京大学 助産師学生と



福岡県 プレコンセプションケアセンター

相談
無料

健康でより豊かな人生を送ることができるよう、
思春期からの人々を対象とした性と
健康に関する知識の発信と相談窓口です

秘密
厳守

★
★
★
いつでも、どなたでも
お気軽にご相談ください



POINT 01

この相談事業は
助産師が相談を
お受けしています

POINT 02

オンラインで
医師(産婦人科・泌尿
器科)に相談できる
サービスを無料で
ご利用できます

＼こんなお悩みありませんか＼

からだや性の悩み
誰にも言えない

包莖が
気になる

2か月たっても
月経が来ない

パートナーと
うまくいかない

妊活って何？
不妊って何？

安産に向けた
からだ作りって？

1人で悩んで
いませんか？



「プレコンセプションケアって？」

プレは「～の前の」、コンセプションは「受胎」で、「妊娠前からのからだと心、性の健康へのケア」という意味があります。妊娠する・しない、年齢・性別に関わらず、自分の健康に意識を向けることは大切なことです

 **福岡県**
プレコンセプションケアセンター

(電話相談ダイヤル)

TEL:092-409-4936

開所時間 10:00～18:00 (日～木) 祝日除く

〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-20-31

福岡県千代合同庁舎1F

メール相談&来所相談はHP・LINEで受付中

ホームページ

LINE

Instagram



福岡県プレコンセプションケアセンターは、
福岡県助産師会が委託を受け、運営しています。

福岡県助産師会の産後ケア事業の最新動向

妊娠・出産包括支援委員長 豊田 晴子

令和6年度初めましてのニュースレターとなります。昨年に引き続き宜しくお願い致します。前回のニュースレターでは、福岡県助産師会は、23の自治体と産後ケア事業の契約を締結し、地域において産後お困りの母子やそのご家族に寄り添い産後ケア事業を展開していることをお伝えしました。

産後ケアを行うことに助産師はやりがいを感じ、産後ケアをご利用される方の満足度は高いです。しかしながら報告書類は県内一貫したのではなく自治体ごとに、利用料金、自己負担額も違うため助産師は煩雑な報告書作成に疲弊している現状があります。福岡県内市町村代表者会議に参加させて頂き、福岡県として料金や書類関係の統一にご尽力頂きたいとの申し出をしています。書類の統一は即座にできることではないと思いますが、まずは耳を傾けて頂けた福岡県子育て支援課の素晴らしい対応に感謝しております。また進展がありましたらニュースレターにてご報告させていただきます。

次に福岡県助産師会が行っている産後ケア事業の重要性についてお伝えしたいと思います。なぜ、福岡県助産師会は、県内60の自治体と産後ケア事業を締結したいのか？独占企業を目指しているわけではありません。一人も取り残さない社会問題を自治体と一緒に解決方向に向かいたい。産後ケアを糸口にいろいろな問題が早期に把握できます。「お産は人生における一つの要」とても大変な時期に誰と出会うか、どんなケアを受けたか、お困りごとを早期に改善できたか？そうでないか？これらの対応でご家族の将来が大きく変わる事もあります。

自治体によって産後ケア事業のメニューや自己負担額が違います。同じ福岡県民なのに住民サービスに格差がありすぎます。自治体の力ではどうにもならない格差を県民サービスのくくりとして平等に提供するために、福岡県助産師会からこそできる役割があると思います。福岡県助産師会会員は、全自治体の産後ケア事業を充足できる人員を備えています。また産後ケアに必要な教育を受けた会員です。また産後ケア対応賠償責任保険に全員加入しているなどの要件を満たした者が産後ケア事業を実施しています。

将来的には妊婦健診同様、産後ケアチケットの配布が望ましいとおもいます。ご意見をお待ちしています。



助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育 連続研修 第1回

包括的性教育ワーキンググループ 委員長 道園亜希

5月12日(日)、第1回目の研修が大盛況のうちに終了しました。対面40名、オンライン14名で県外からも多くの方が参加してくださいました。

第1回目のテーマは「性教育の歴史と助産哲学」。なぜ性教育実践者として性教育の歴史を学ぶ必要があるのか、なぜ助産哲学が関連するのか、佐藤香代会長の熱い想いが皆さんに伝わり、会場は熱気に包まれました。助産師も性教育も、歴史の中で政治や宗教に大きく翻弄されてきた過去があります。ですが、この先どのような時代が到来しようとも、私たち助産師はすべての人の「いのちの尊厳」「権利」を守り抜いていかなければならないと、改めて心に刻むことができました。

参加者からは「歴史を知ることによって助産師や女性の立場的变化などを振り返り、考える機会となった」「性教育について表面的な内容ではなく歴史や、ウィメンズヘルス、リプロダクティブヘルス・ライツ、ジャスティスの概念など詳しく学べたことがよかった」「尊厳というゴールに、何が必要なのかを考えさせられる時間となった」という言葉が聞かれました。また、「グループワークを通して様々な立ち場の方々と意見交換できたことがよかった」という感想が多くみられました。

第2回目は、6月9日(日)「今なぜ包括的性教育なのか」。乞うご期待ください。



ワーキンググループ 研修前に



第1回包括的性教育研修

九響マタニティコンサート 2024

福岡地区理事 高橋 よし恵

4月28日アクロス福岡イベントホールにて、『九響マタニティコンサート 2024 パパとママとベビーに贈る0歳からのオーケストラ』が行われました。ベビーカー席やおむつ替え、授乳スペースがあり、小さなお子さま連れへの工夫がされ、騒いでも泣いてもいいコンサートはなかなかないので、お子様連れや妊娠中の方に人気のコンサートです。

今年は救護スタッフも助産師になり、助産師4名で行って参りました。開演前、終了後には「助産師相談コーナー」に、今年も多くのご家族が立ち寄りました。去年は妊娠中で、今年生まれた赤ちゃんを連れて来られたリピーターもあり、嬉しく思いました。妊婦体験するパートナーも多く、産後であっても妊娠中の大変さを感じる機会となったようです。相談や、赤ちゃん人形の抱っこ体験、胎児模型や性教育の絵本などの展示も行い、大変好評でした。コンサート中に佐藤会長が、胎響の素晴らしさや、一つの命が誕生する奇跡のお話をされる時間もあり、多くの方に助産師を知ってもらう良い機会となりました。

※九響…九州交響楽団



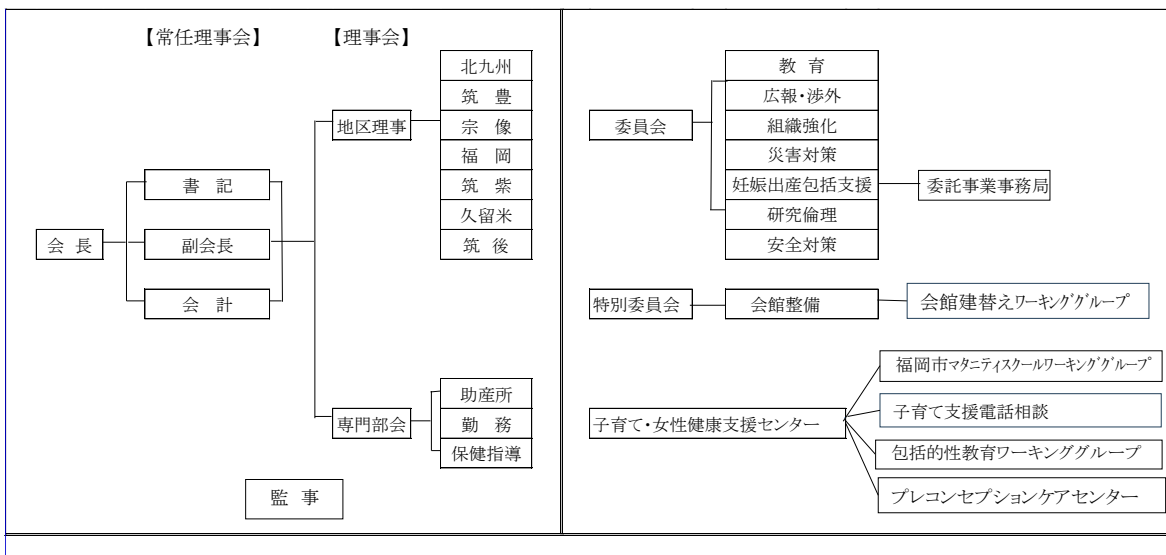
助産師相談コーナー



コンサートホールの様子

一般社団法人 福岡県助産師会 組織図 (変更)

「事業拡大にともなう助産師会の組織の見える化」を目的に組織図を変更しました。



2024年度 役員一覧

● 常任理事 ・ 監事

役 職	氏 名
会 長	佐藤 香代
副会長	吉田 静
会 計	山口 美津枝
書 記	阿部 聖子
監 事	野中 清子
	田中 啓子

● 地区理事

地 区	氏 名
北九州	神崎 秀子
筑 豊	安河内 静子
宗 像	永松 美雪
福 岡	福澤 雪子
	福田 睦美
筑 紫	松藤 美由紀
久留米	加藤 陽子
筑 後	上田 良江

● 専門三部会長理事

部 会	氏 名
助産所部会	田嶋 昌枝
保健指導部会	松浦 栄梨子
勤務助産師部会	村田 修子

● 常任委員会

*は委員長 ○は理事

委員会	氏 名	地 区	委員会	氏 名	地 区
教育委員会 (委員定数6)	松藤 美由紀 ○ *	筑 紫	組織強化 委員会 (委員定数5)	浦部 きくえ *	北九州
	村田 修子 ○	北九州		山田 葉子 ○	北九州
	緒方 理佐	北九州		上田 良恵 ○	筑 後
	本村 比紗乃	北九州		國武 麻利紗	筑 豊
	道園 亜希	筑 豊		東 幸子	久留米
広報・渉外 委員会 (委員定数5)	松本 由美子	久留米	安全対策委員会 医療事故調査 委員会	田嶋 昌枝 ○	北九州
	安河内 静子 ○ *	筑 豊		松浦 栄梨子 ○ *	宗 像
	新 友子	北九州		村田 修子 ○	北九州
	伊与田 あずさ	福 岡	妊娠・出産包括支援 委員会 (委員定数6)	豊田 晴子 *	筑 紫
	原武 範子 HP担当	久留米		高崎 望	筑 豊
災害対策 委員会 (委員定数8)	阿部 聖子 HP担当	宗 像	研究倫理 委員会 (委員定数5)	宮尾 久美子	北九州
	神崎 秀子 ○ *	北九州		松元 久美子	筑 紫
	福田 睦美 ○	福 岡		吉田 静 ○	北九州
	川野 史絵	北九州		吉田 静 ○	北九州
	木藤 雅子	筑 豊		永松 美雪 ○ *	宗 像
	村尾 和美	宗 像		石田 麗子 ○ *	北九州
	光安 和恵	筑 紫		福田 千鶴	筑 紫
	師岡 妙子	久留米		両角 駿	外 部
瀬口 絵美	筑 後				

● 特別委員会

会館整備	佐藤 香代	○*	会長
	吉田 静	○	副会長
	山口美津枝	○	会計
	阿部 聖子	○	書記
会館建替 ワーキング グループ	佐藤 香代 吉田 静 山口美津枝 阿部 聖子		
	緒方 理佐	*	北九州地区
	田嶋 昌枝	○	北九州地区
	高井 佳世子		北九州地区
	梶原 世津		福岡地区
	長谷川 まどか		福岡地区
	松竹 麻沙美		福岡地区

● 子育て・女性健康支援センター

統括責任者	佐藤 香代	○	会長
実務責任者	吉田 静	○	副会長
実務責任者補佐	木村 亜矢		宗像地区
構成員	末吉 友恵		北九州地区
	松本 由美子		久留米地区
	佐藤 繭子		福岡地区
	道園 亜希		筑豊地区

● ワーキンググループ

福岡市マタニティスクール	福澤 雪子	○*	福岡地区
	西岡 あゆみ		福岡地区
	高橋 よし恵		福岡地区
	阿部 聖子	○	常任理事
包括的性教育	佐藤 香代	○	福岡地区
	道園 亜希	*	筑豊地区
	光橋 幸恵		北九州地区
	大庭 瞳		福岡地区
	儀間 沙耶香		福岡地区
	嶋田 嗣子		福岡地区
	阿部 聖子	○	宗像地区
	河村 奈央子		久留米地区
	松藤 美由紀	○	筑紫地区
	守 由起子		福岡地区
大熊 陽子		福岡地区	
野中 清子	○	北九州地区	
子育て支援 電話相談	福澤 雪子 常任理事	○*	福岡地区
プレコンセプションケアセンター	佐藤 繭子 常任理事	*	福岡地区



私たちは、働く皆様を「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

【お役に立てる主な研修】

- **医療安全対策研修** 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- **学校保健委員会** 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- **高齢者の睡眠ケア** 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけ知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせをお願いする事も可能です）

◆セミナーに関するお問い合わせは、こちらまで
 ◆お申し込みは、こちらまで
 ◆お申し込みは、こちらまで

東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
 〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 ☎0120-104-557

mamo-hada だけの「0ゼロ添加」低刺激処方
 肌への優しさを追求し続けることが私たちの最大のテーマです。

敏感肌スキンケアシリーズ



まも肌、ベビー泡ソープ 400ml / 190g(大瓶) 350ml (標準に相当)
 まも肌、ベビーミルククリーム 120g / 60g (標準に相当)
 まも肌、ベビーUVエアークリーム 50g (標準に相当)
 まも肌、トリアルセット
 ベビー泡ソープ (300g) × ベビーミルククリーム (15g)

mamo-hada 「0ゼロ添加」低刺激処方

より安心してお使い頂くために
 まも肌は、外部専門機関で複数のテストを実施しています。

- ◎ 肌刺激試験(アレルギーテスト)済み
- ◎ 敏感肌対象パッチテスト済み
- ◎ スティンギングテスト済み
- ◎ 皮膚科医監修による乳児対象使用テスト済み
- ◎ アトピー素因の方対象パッチテスト済み

※すべての成分にアレルギーが起因しないというわけではありません。

【製造販売元】株式会社日本免疫研
 【商品に関するお問い合わせ】株式会社未来 TEL 03-5148-1007

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして24時間いつでもご利用いただけます。

GLORY
 外用販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを回転させながら商品が選べます

↓

投入金額以内の陳列コラムの扉を1つだけ開けて商品を取り出せます



外形寸法: (W×D×H)
 800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092)472-4316

産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313
 福岡県福岡市南区日佐3丁目
 34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



ホームページ会員登録のお願い

会員登録がお済みでない会員におかれましては、登録をお願いいたします！

手順は、福岡県助産師会 HP⇒助産師の方へ⇒会員登録について⇒会員登録フォームに必須事項の入力となります。これまで、日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として、地区理事や各部会長を通して伝達しておりましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内「会員ページ」に掲載することになりました。会員ページにログインされますと、観覧制限しているページを見ることができます。

会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、助産師の方へ⇒入会案内のページにお入りください。または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。

【編集後記】

今年度1回目のニュースレターです。助産師会の活発な活動をご紹介できた号となりました。また広報・渉外委員は新しいメンバーを迎えました。今年度も会員の皆様の活動を発信し共有できるツールになればと思っています。ご興味がある方は是非 HP もご覧ください。

広報・渉外委員 安河内・伊与田・新・原武・阿部

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第85号 2024年6月
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>